

導入事例
らくらく
ボード子どもたちの主体的な学びをサポートする「らくらくボード」
新たなツールを授業に取り入れ、学習効果につなげていく

石川県金沢市のICT教育モデル校として、電子黒板やタブレットの導入をいち早く進めている十一屋小学校。教室環境のICT化にあたっては、苦手意識から取り残されたという先生もおらず、全員が積極的に取り組むという成功を収めています。「らくらくボード」を導入して1年というタイミングで、そんな同校の6年2組を担当する櫻井元太先生の授業を訪問しました。同クラスでは、「らくらくボード」に加え、児童1人1台のタブレットという充実のICT環境を実現しています。その詳細について櫻井先生と林良彦校長に伺いました。



導入商品

らくらくボード
IWB-651EB

※ディスプレイは別売りです。

電子黒板に加え、1人1台のChromebookという充実のICT環境

櫻井先生の社会の授業は、黒板のサイドに「らくらくボード」を設置、児童の皆さんの手元には1台ずつのChromebookという、充実のICT環境で行われていました*。従来の板書中心の授業スタイルと比べて、どのような違いを感じていますか。

*「らくらくボード」と櫻井先生の教務用パソコンを接続、櫻井先生とクラスの皆さんはタブレット学習ソフト「ミライシード」で連携しています。

櫻井先生：ICT授業の良いところは、豊富なデジタル資料に触れられる点です。あらかじめ資料を多数用意しておき、子どもたちにタブレットから自由にアクセスしてもらっています。必要な資料を見つけたり、複数の資料を比べたりといったシーンでは、やはりデジタルの強みが発揮されますね。特に社会の授業では、「これだ」と思える資料を自分で選ぶことが「主体的な学び」につながると考えています。



学びのハードル下げる「らくらくボード」で、表現力や思考力を育てたい

ICTを活用した授業には、児童のやる気を引き出す力がありそうですね。

櫻井先生：電子黒板、タブレットがあると、子どもたちはいつも以上に生き生きした顔を見せてくれます。課題はタブレット上でまとめてもらい、さらに皆で共有しています。従来は、私がいくつかのまとめをピックアップして、印刷してホワイトボードや黒板に掲示しながら共有していました。今では電子黒板やタブレットで、全員分の成果を一瞬で共有することができます。また、授業時間の最後の5分を使って、それぞれまとめた内容を自由に共有し合ってもらっています。良くできた児童の元には、「そのまとめ、ちょうだい」と皆が集まってきたりもします。友達に自分のまとめを評価してもらうことは、大きな自信につながっているようです。

林校長：課題解決型の授業の場合、ICTの助けを借りることで子どもたちはより積極的になります。それぞれが「できる子」になったついで、「頑張った」という達成感を味わっているように見えますね。もちろん思考力や表現力、理解力には個人差がありますが、授業をより入りやすいものにしてあげるには意味があります。



ツールに合わせて授業を変えるのではなく、普通の授業のサポート役として

新しいICTツールを学校に導入した時、苦手意識を持つ先生方が取り残されてしまうといった課題もよく聞かれますが、問題にはなりませんでしたが。

林校長：使い方がわからないなどの初歩的な課題はありますが、使いこなせないという先生はいませんね。この時代、ICT化の流れは変えようがありませんし、皆が当然のこととして取り組んでくれています。

前向きに取り組む雰囲気を作るために、どんな工夫をされていますか。

林校長：学校として、先生方にICT化を押し付けるような方針は立てません。いつも通りの授業の中で便利に使える部分を見つけてくれたら、後はそれぞれの個性で発展させてくれるらと思っています。大仰な目標を立てて何かを達成しようとする、かえって敷居が高くなってしまいますから。

あくまで授業をサポートする1つの道具として活用するということですね。

林校長：学ぶべき課題を児童に与え、個の考えを持たせ、持ったものについては共有し、さらに積み上げて次の学びへとつないでいく——こうした授業の流れはICT化されていようがいまいが変わりません。その中で、もし電子黒板やタブレットが役立つならば取り入れていこうという、シンプルな話なのです。今は試行錯誤しながら、少しずつ見えてきたものを育てている段階ですが、たしかな手応えを感じています。

・Chromebookは、Google LLCの商標です。

取材にご協力いただいた先生



金沢市立十一屋小学校

林 良彦 校長



金沢市立十一屋小学校

櫻井 元太 先生



CLIENT DATA

導入学校 / 金沢市立十一屋小学校

所在地 / 石川県金沢市

設立 / 明治9年